

児童・生徒の現状・課題

- ・ほとんどの児童が与えられたどの課題に対しても、落ち着いて取り組む姿勢が定着している。
- ・論理的な思考や文章による表現に苦手意識をもつ児童がみられる。



学び続ける力を育むための重点目標

○児童一人一人が自らの学びを主体的に進めようとする意識を高め、他者(教師や友達など)と関わり合いながら自分の考えを深められるようにする。



具体的な手だて①

学習内容や学習計画などを事前に提示して、単元における学習活動の見通しがもてるようにする。

具体的な手だて②

単元の中で学習内容の進捗や学習方法などについて、自分で選択する場面を毎学期 1 回以上設定し、実施する。

具体的な手だて③

児童がその時間にどのような活動を行い、どんなことを学んだのかについて、スプレッドシートなどに記入し、担任が学びを見とれるようにする。



児童生徒調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	統合新校の為データなし	85.0	78.4
②学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している。	統合新校の為データなし	90.0	79.4

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	統合新校の為データなし	85.0	83.3
②学習をしてもできるようにならないときは、どうすればよいか、見通しをもたせている。	統合新校の為データなし	90.0	88.9

校内での共有、授業改革を日常化するための工夫

- ・研究のクラスルームを用いて、日々の実践や意見、授業の紹介などを行い、情報交換できるようにする。

総括(6月)

全国学力学習状況調査の結果を見ると、本校児童の平均点は、全国・東京都よりも若干下回るものの落ち着いて学習に取り組む様子が見られる。しかし、国語で 57.7%、算数では 52.9%の児童が教科を「好きではない」と答えるなど、意欲が低い傾向にあり、内容の理解度にもつながっていると考えられる。今後は、自由進度学習などを通して、自分に合った学習方法や進め方から学びの楽しさを感じられるような授業を展開していきたい。

総括(1月)

今回の最終結果では、学年による差が見られ、平均すると目標数値には届かなかった。各学年児童の発達段階に応じて、自由進度学習に取り組んできた。学習の進め方については、まだ課題が見られるがスプレッドシートの活用などによって、より細かい個々の児童の学習の見取りができるようになった。今年度の成果を来年度の学習指導にも生かしていきたい。